

五竜岳山行記

79 座目の日本百名山

2020 年 8 月 3 日～5 日

L：ハングルの星（単独）

8 月 3 日（月）

長い梅雨がやっと開けて、満を持して五竜岳に登頂した。過去に 2 回唐松岳からのルートでチャレンジしたがいずれも天候悪化により断念したことがあり、今回 3 度目のチャレンジだった。白馬八方尾根スキー場のゴンドラ乗り場からリフトを乗り継いで八方池山荘へ。駅でゴンドラに乗る頃は酷暑でかんかん照りだったのに高度を上げるにつれてガスが濃くなり、周囲はほとんど眺望無し。

八方池山荘から第二ケルン、第三ケルンを経て八方池に着いたが、期待していた八方池越しの白馬三山はほとんど姿を現してはくれなかった。雨もぼつりぼつりという状況。シモツケソウやハクサンシャジンなどの高山植物をめでながら登り、扇雪溪で休憩。ここもガスが依然として濃いままで周囲の展望は殆ど無い。



1. 八方池からの眺め

扇雪溪から稜線に出て、丸山へ。北西方向には 5 年前に登った、不帰嶮の二峰、三峰がうっすらと展望できた。



2. 丸山から望む 不帰嶮の二峰、三峰

以前は丸山から小屋に通じる巻き道があったが、崩壊したため、通行止めにな

っていた。新たな仮設の登山道は尾根筋を急登するようになっていて、暫く行くと唐松岳頂上山荘に到着。しかし五竜岳も唐松岳も濃いガスで全く見えなかった。夕焼けを期待したが、この後も濃いガスは一向に晴れなかった。



3. 崩壊して通行止めになった巻き道

8月4日（火）

朝、曇っていてご来光はうっすらと拝めただけ。唐松小屋からすぐの牛首まではいくつか鎖場があったが、難なく過ぎて大黒岳（2511m）へ。五竜岳がデーンと聳え立ち、徐々に大きさを増してくる。天候は曇りで暑くなくていいが、このあと天候が悪化しないかと心配になってくる。



4. 牛首からの五竜岳

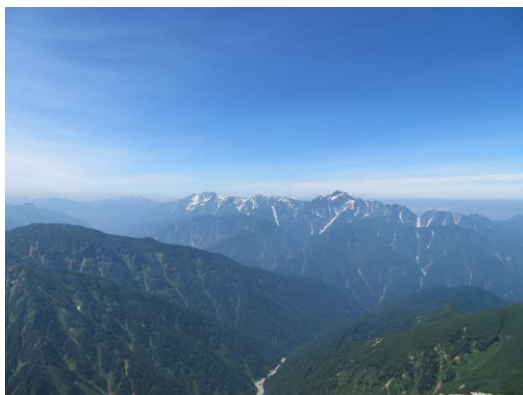
ハイマツ帯を進んで鞍部から登り返すとやがて遠見尾根との分岐に立つ。このころからやっと青空を望めるようになってきた。五竜山荘に到着。少し休んでから本命の五竜岳へ向かう。この頃になるとすっかり晴れわたって五竜岳が青空に映えて荒々しく雄大な山容を見せてくれている。



5. 五竜岳山頂直下へ

頂上直下の岩場では鎖場が連続していたが、慎重に超えて五竜岳山頂(2814m)

に立つ。山頂からは文字通り 360 度の大展望。南には鹿島槍ヶ岳、北には唐松、白馬三山、西には劔、立山連峰など素晴らしい眺望がどこまでも続く、悠久の時を感じる。



6. 五竜岳山頂からの劔、立山連峰

そうこうするうちにトレランの選手 2 人が登ってきて、そのうちの 1 人がハセツネカップ (日本山岳耐久レース 長谷川恒男カップ) で過去 2 回の優勝者、上田瑠偉氏だった。他の山頂にいた人たちと上田さんを囲んで談笑し、ツーショットも撮影。展望もいいし、このまま暫くは山頂の眺望をゆっくりと楽しんでいたかったが、ゴンドラの時間もあるので見切りをつけて下山開始。



7. 五竜岳山頂にて上田瑠偉氏と

五竜山荘に戻ってあらためてテレキャビンの最終便の時間を確認するなんとうっかり 1 時間、時間を間違えていたことが判明。正しくは 16:30 だった。

このまま急いで下山しても間に合わないかもしれないので、小屋に予約なしで宿泊可能か確認すると、ちょうどキャンセルが出たとのことでラッキー、1 泊することにした。



8. 遠見尾根南東の雪溪草地に熊出現

夕方 5 時ごろに山荘前のベンチで遠見尾根から南東の雪渓に熊が居るのを他の登山者が発見。熊が悠然と草を食んでいるのを暫し眺めていた。遠見尾根では熊の目撃情報も寄せられているとのことなので、あのまま無理して下山していたら、ひょっとしたら遭遇していたかも、と思うと肝を冷やした。それにしても大きな熊だった。このあと、西の立山連峰に暮れる日没を観る。

8 月 5 日（水）

最終日は朝から快晴。小屋を 6 時に出発。ここから西遠見山まで約 1 時間は岩場とガレ場の連続、鎖場も数か所あった。

西遠見山(2268m) には小さな池塘があった。ここからは五竜岳と鹿島槍ヶ岳の眺望がすばらしい。日が高くなるにつれてかなり暑くなってきた。



9. 西遠見山からの五竜岳と鹿島槍ヶ岳

さらに大遠見山(2106m)、中遠見山(2037m)と下って、登り返しもあったが、すれちがう上りの登山者も結構多いと感じた。小遠見山(2007m) まで下ってくると徐々にガスが出始めて、下るにつれとガスが濃くなってきた。鹿島槍ヶ岳は見えなくなった。地蔵の頭(1676m) からは本来であれば白馬三山の眺望がいいところだが、ガスで殆ど眺望はなかった。



10. 地蔵の頭から八方尾根を望む

アルプス平駅からはゴンドラで一気に白馬五竜駅に下る。乗り継ぎに 5 分しかなかったが、うまく乗合バスで八方駅の駐車場に戻る。八方の湯で寛ぐ。

【行程】

8月3日（月）

4:30 浜松発

9:30 八方尾根駐車場着

10:30 八方ゴンドラ駅出発

11:00 八方池山荘着

12:15 八方池着

13:20 扇雪溪着

14:30 唐松岳頂上山荘着

8月4日（火）

6:30 唐松頂上山荘出発

7:45 大黒岳山頂

9:00～9:20 五竜山荘

10:30～11:20 五竜岳山頂

12:10 五竜山荘帰着

8月5日（水）

6:00 五竜山荘発

7:40 大遠見山（2106m）通過

8:30 中遠見山(2037m)。

9:00 小遠見山（2007m）を通過。

10:00 地藏の頭(1676m)。

10:30 アルプス平駅テレキャビン着。

11:00 八方駐車場帰着

12:00～13:00 八方の湯

19:00 浜松帰着

文責： 谷